

令和7年12月定例会 水俣市一般会計補正予算の概要

議第 92号 令和7年度水俣市一般会計補正予算（第5号）

議第 93号 令和7年度水俣市一般会計補正予算（第6号）

議第105号 令和7年度水俣市一般会計補正予算（第7号）

（単位：千円）

会計名	補正前 予算額	12月補正予算 （先議分） （第5号）	12月補正予算 （第6号）	12月補正予算 （追加分） （第7号）	補正後 予算額	伸率
水俣市一般会計	16,145,711	54,656	211,751	328,263	16,740,381	3.7%

補正予算のポイント

1 2月補正予算第5号（先議分）

○人事院勧告に伴う人件費補正等

54,656千円

給与改定等に伴う人件費の増額です。

1 2月補正予算第6号

○先端環境技術等開発促進事業

58,336千円

JNC株式会社の先進的な脱炭素社会に向けた取組及び同社の競争力の強化に資する取組を支援します。

補正予算のポイント

1 2月補正予算第7号（追加分）

○物価高騰対策生活応援商品券事業

268,510千円

物価高騰下における市民の経済的負担の軽減及び地域経済活性化の支援のため、全市民に対し食料品、生活用品等の購入に使用できる商品券を配布します。

◆対象者

- ・令和7年12月1日から令和8年2月28日において、水俣市に住民登録があるもの

◆交付額

- ・対象者一人当たり 一律12,000円（商品券：1冊あたり1,000円×12枚）

○物価高対応子育て応援手当支給事業

59,753千円

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援するために、物価高対応子育て応援手当を支給します。

◆対象児童

- ・令和7年9月分児童手当対象者
- ・令和7年10月1日以降令和8年3月31日までに生まれる新生児

◆支給額

- ・こども一人当たり 一律20,000円

先端環境技術等開発促進事業（予算額:58,336千円）

福祉環境部環境課

◆ 事業の目的

人口減少が続く本市において、第八次水俣・芦北地域振興計画（以下「第八次計画」という。）が掲げる「地域の資源を最大限活用して地域の活力を創出し、人口減少時代においても地域社会を持続させる」ことが急務であり、また、第八次計画にある「未来へつなぐ水俣病からの学び」にあるとおり、「環境先進地」として脱炭素社会に向けた取組が求められる。

また、「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」第35条には、「政府及び関係地方公共団体は、必要に応じ、特定事業者の事業所が所在する地域において事業者が事業を継続すること等により地域の振興及び雇用の確保が図られるよう努めるものとする。」とされている。

そのため、JNC株式会社（以下「JNC」という。）を支援対象とし、先進的な脱炭素社会に向けた取組及び同社の競争力の強化に資する取組を支援することで、中長期的な視点を含めた地域経済活性化の契機とする。

◆ 予算

【予算額】

先端環境技術等開発促進補助金	58,336千円
(内訳)	
・ペロブスカイト太陽電池技術開発促進事業	36,050千円
・磁性微粒子技術実証事業	22,286千円

【財源】

熊本県「環境首都」水俣・芦北地域創造補助金	52,502千円
-----------------------	----------

◆ 事業の概要

●ペロブスカイト太陽電池技術開発促進事業

次世代の国産再生可能エネルギー技術として期待されるペロブスカイト太陽電池について、本年10月にJNCがペロブスカイト太陽電池社会実装推進協議会へ加盟したことを契機に、同協議会加盟社が実施する実証事業に参画するための技術開発環境づくりを支援する。

実証事業については、市内2か所（JNC水俣製造所敷地内と市有施設を予定）にペロブスカイト太陽電池を設置し、発電状況のモニタリングや設置工法等の検討などを行う。併せて、市有施設において、ペロブスカイト太陽電池を間近に見ることができる展示を行う。

【事業期間】 令和8年2月まで

●磁性微粒子技術実証事業

流行性感染症ウイルスを対象とする下水サーベイランス（監視）への応用を通じた、JNCが有する磁性微粒子技術の高度化に向けた取組を支援する。

JNCの磁性微粒子技術を用いた試薬は、水中のウイルス等を選択的に捕捉することができ、磁力で凝集できるため簡便・迅速・高感度な検出が可能。下水サーベイランスへの応用として、本事業においては、インフルエンザウイルスを対象に、処理人口規模が異なる複数の下水処理施設（本市下水処理場を含む2か所以上を予定）から採取した試料を用いて、ウイルスの検出状況と実際の患者数等との相関を検証する。

【事業期間】 令和8年2月まで